

図1

【老人ホームなどの種類】

介護付き有料老人ホーム

介護サービスがついた有料の老人ホームのこと。重度の介護状態でも入居できる施設も多い一方で、軽度の介護状態や要支援の人しか受け入れない施設も存在します。各都道府県から公的な指定（特定施設入居者生活介護の指定）を受けているため、入居者が受けられる介護サービスには、介護保険が使えます。

住宅型有料老人ホーム

生活支援を中心とした有料の老人ホームのこと。通常標準サービスには介護サービスは含まれていません。入居後介護が必要になった場合には、外部の「訪問介護」や「デイサービス」を利用することで介護保険を利用した介護サービスを受けられます。ただし、「介護付き有料老人ホーム」と比較して重度の介護状態の方を受け入れられる施設は少ないのが現状です。

サービス付き高齢者向け住宅

平成23年に改正された「高齢者の居住の安定確保に関する法律」により創設された住宅。一定の面積と設備、バリアフリー構造などを有する賃貸住宅または有料老人ホームのこと。状況把握サービスや生活相談サービスなどの福祉サービスも提供します。

【S-FIT へのご相談の流れ】

1. お問合せ

入所後どのような生活を送りたいかや、お体の状態、現状の生活状況などをお伺いいたします。

2. ご相談

お伺いした内容を踏まえ、どのようなサービスが必要か、掛かる費用、ご入居のタイミングなどをお話いたします。

3. 見学

お車での送迎も無料ですので、3件以上の見学をお勧めいたします。ポイントを詳しくご説明致します。

4. 体験

体験入居もお勧めしています。雰囲気やスタッフとの相性も確認出来ます。

5. ご契約

気に入らなければ再見学、申込、審査を経てご契約になります。重要事項説明書、契約書の内容は十分に確認します。

取材協力：株式会社 S-FIT
 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 14階
 ☎0120-116-567
 有料老人ホームアドバイザーサイト
<http://www.rojin-home.jp/>

べば良いか悩むところですが、おおよその目安は図1をご参照下さい。」と浅尾さん。

同じ種類で似た料金体系の施設では何を基準に選べば良いか分からないという方が多いのではないだろうか。そこで何を基準として選べば良いかを伺った。

「弊社では6つのポイントで説明しています。要点を図解していますので図2をご覧ください。表面的な雰囲気だけで選ぶのではなく各ポイントを確認して下さい。特にスタッフのレベルは現場をご覧になった上、体験しなければ分かりません。見学や体験は積極的にお願いいたします。」

最後に浅尾さんの所属するS-FITさんに依頼する際の

費用についてお聞きした。

「施設のご紹介は全て無料です。特徴として弊社には介護施設を運営している子会社がある為、担当するアドバイザーは全員介護施設での勤務経験がございます。ご入居なさる方とコミュニケーションを取り、ご家族の方々の思いを考慮した現場経験者ならではの目線で情報提供が可能です。」と浅尾さん。

探す立場にしてみると親身になって中立な提案をしてほしいのが本音だろう。ご自身で探されるのが本来だろうが頼りになるスペシャリストからアドバイザーをもらいながら探すというのは後悔のない老人ホーム探しに安心だ。

図2

老人ホーム探し6つのポイント

①老人ホーム検討の流れ

最適な老人ホーム探しは困難です。どんな施設が自分の希望や条件に当てはまるのかわからないといったケースはよくあります。まず希望条件を明確に整理する事が重要。

②入所者からみた老人ホーム

入所後どんな生活を送りたいかイメージする事が大切です。趣味や買い物など望んだライフスタイルが実現できるか、介護が進んだ場合のサポートはどうかの検討も必要。

③認知症ケアが手厚い老人ホーム

認知症ケアは専門的な知識が必要です。有資格者の数や研修体制、リハビリなど施設が認知症ケアにどの様に取り組んでいるかを確認しましょう。

④介護スキルが高い老人ホーム

大切なのは施設職員レベルの見極め。レベルが顕著に現れやすいのは食事の時です。よく事前に見学して確認しておく事が重要。

⑤老人ホームの費用

分かりづらい料金体系。それは老人ホームや介護保険特有の料金形態によるもの。検討する施設を数箇所ピックアップしサービス内容と料金を比較しながらの吟味が必要。

⑥老人ホーム紹介会社の選び方

ネットで施設の情報を紹介している会社、電話でアドバイスに応じてくれる会社、施設に車で同行してくれる会社と形態は様々、ニーズに合わせて利用しましょう。



豊富な知識と同社への相談実績を持つアドバイザーの鈴木さん



女性目線ならではのキメの細かい提案が定評の北川さん



有料老人ホームアドバイザー 浅尾銀士さん
 180箇所以上の介護施設の運営支援実績を持ち、子会社のS-FITケアでは都内で3箇所の介護施設を運営。

超高齢社会の今、老人ホームの役割は社会にとつてますます重要となつてきている。様々な施設の整備は進んでいるが、ユーザー側にとつてみると何を基準に選べば良いかが分からないのと、中立的な情報源が乏しいというのが現状だ。そこで有料老人ホームアドバイザーのスペシャリスト、株式会社S-FITの浅尾さんにお話を伺った。

「老人ホーム探しは難しいですが、後ろ向きなイメージですが、決してそんな事はありません。入所者さんやご家族の方々が希望する生活を叶える場所です。皆様も進学や就職、ご結婚といった環境の変化に応じ、住まいを変えてきたのではないのでしょうか。より充実した生活を

送る為の選択肢として、ご検討いただくの良いと思います。」

老人ホームをお探しになるのはご入居になる方のご親族というのがよくあるケースだろう。浅尾さんによると相談に来られる方の多くは後ろめたい思いを持たれていると感ずるといいます。まずそこを前向きに捉えて欲しいと語る。

「では、老人ホームにはどんな種類があるかですが、介護付き有料老人ホームや住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などがあります。いずれもご入居なさる方が、どの様にお過ごしになりたいかを元に、介護度や医療依存度などに応じてお選びいただく事になります。まずここでの種類を選

介護サービス

第2の「我が家」探しのパートナー
 有料老人ホームアドバイザー

プロの視点でアドバイス
 老人ホーム選びをサポート

ひとくちに有料老人ホームといっても求める内容によって「介護付き」「住宅型」等、様々な種類がある。受けられるサービスや料金が異なる老人ホーム選びのポイントを知りたい方は、有料老人ホームアドバイザーのスペシャリスト、浅尾さんにお話を伺った。

株式会社 S-FIT



各種有料老人ホーム料金の目安

種類	初期費用	介護サービス費用	その他生活費用
介護付き 有料老人ホーム	0～数千円	1.8～2.8万円	10～100万円
住宅型 有料老人ホーム	0～数千円	別途	10～30万円
サービス付き 高齢者向け住宅	0～数千円	別途	10～30万円

有料老人ホームの種類と受け入れ態勢の目安

種類	年齢	自立	要支援	要介護	認知症
介護付き 有料老人ホーム	60/65歳以上	△	△	○	○
住宅型 有料老人ホーム	60/65歳以上	○	○	○	○
サービス付き 高齢者向け住宅	60/65歳以上	○	○	○	△